

FEM-12

レーシングカーとしての速さを持ち，誰でも安心してドライビングを楽しめるフォーミュラカー
Formula Entertainment Machine



優れた駆動力とエンジンレスポンスをもったパワートレイン，および高い旋回性能と操縦性を発揮するシャーシの開発による応答性向上を図った。

加えて，信頼性の担保やドライバーアシスト機能の採用により扱いやすさを追求した。

昨年までのシステムに加え，チーム初のDRS・ばね下マウント前後ウィングの搭載やカーボンエキゾースト，マグネシウムホイール等を搭載した。

試走会では前人未到の61秒台というタイムを残したが，大会では惜しくもリアウィングの脱落によりリタイアした。



第13回大会成績

- 総合 20位
- 静的審査
 - ・デザイン審査 6位 (113.00/150pts)
 - ・コスト審査 4位 (67.75/100pts)
 - ・プレゼン審査 6位 (59.21/75pts)
- 動的審査
 - ・アクセラレーション 4位 (66.83/75pts)
 - ・スキッドパッド 4位 (43.90/50pts)
 - ・オートクロス 中止 (90.95/150pts)
 - ・エンデュランス 39位 (13.00/300pts)
リアウィング脱落によりリタイア
 - ・効率(燃費) 20位 (64.47/100pts)

- ・ベストサスペンション賞 3位
- ・ベストラップ賞 2位

